

第1回 多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会

国の最新動向：豊岡市第5次男女共同参画プラン策定に向けて

2026年7月28日
大崎麻子

1

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの実現に向けて

国際（Global）

- ・ 国連女性の地位委員会（CSW）日本代表
- ・ ISO58300「ジェンダー平等ガイドライン」策定
日本代表エキスパート
- ・ 国連女性のエンパワーメント原則（WEPS）
日本版ハンドブック制作



地域（Local）

- ・ 兵庫県豊岡市ジェンダー平等推進アドバイザー
- ・ シャネル財団/公益財団法人みらいRITA「YUIみらいプロジェクト」ジェンダーエキスパート

政府（National）

- ・ 内閣府男女共同参画会議計画実行監視専門調査会委員
- ・ 第6次男女共同参画基本計画策定専門調査会委員
- ・ 外務省「女性・平和・安全保障」評価委員会委員



外務省
Ministry of Foreign Affairs of Japan



内閣府
Cabinet Office



大崎麻子
Gender Action Platform理事



企業（Corporate）

- ・ BIPROGY株式会社独立社外取締役
- ・ フジテレビジョンサステナビリティ経営委員会
外部アドバイザーリーボードメンバー



2

国の動向を一言で捉えると

目的

誰もが多様な幸せを実感できるWell-beingな社会

Well-being × 地域 × ジェンダー主流化

重要な舞台（Where）

- 若者・女性に選ばれる地域
- 持続可能な地域社会
- 地域からの変革

実装の方法（How）

- ジェンダー主流化
- データと多様な人々の声
- 行政・企業・市民社会等の協働

豊岡の現在地

豊岡が先駆けてきた
「地方創生×ジェンダーギャップ解消」が、
国全体の方向性になっている。

©2026 Asako Osaki

3

3

国の最新の「政策」

1. 第6次男女共同参画基本計画（2026年3月閣議決定）
2. 男女共同参画基本法の改正（3月施行）
3. 女性版骨太の方針（2026年6月政府決定）
4. 基幹政策における女性活躍・ジェンダー視点の強化（7月閣議決定）
 - 骨太の方針
 - 日本成長戦略
 - 地域未来戦略

©2026 Asako Osaki

4

4

第6次男女共同参画基本計画

全体コンセプト：一人ひとりのウェルビーイング

女性も男性も暮らしやすい「多様な幸せ」の実現

ウェルビーイングを目的に、地域で実装する

重要な舞台としての「地域」

- 若者・女性に選ばれる地域
- 地域の持続可能性
- 地方創生との接続



実装手段としての「ジェンダー主流化」

- 男女別データとニーズの把握
- 意思決定への女性参画
- あらゆる政策へのジェンダー視点

大きな転換

男女共同参画を、
地域社会全体のWell-beingと持続可能性を支
える政策へ

©2026 Asako Osaki

5

5

第6次計画の政策領域

地域の暮らしに直結する課題を、政策の中心へ

暮らし・働き方

- 女性の所得向上・経済的自立
- 生涯を通じた健康支援
- ジェンダーに基づく暴力への対応
- 防災・復興へのジェンダー視点

未来・基盤

- AI・デジタル技術とジェンダー
- 地域における男女共同参画
- 若者の声を踏まえた政策形成
- 行政・企業・市民社会等の協働

政策の射程

「女性のための個別施策」から、
地域と社会のあり方を変える横断的な政策へ

©2026 Asako Osaki

6

6

2. 男女共同参画基本法の改正（2025年7月改正、2026年4月施行）

市町村は「男女共同参画センター機能」を担う体制の確保に努めること

国が期待する5つの機能とは？

- ① 情報収集・提供
- ② 調査研究
- ③ 学習・研修
- ④ 相談
- ⑤ 交流・活動支援

©2026 Asako Osaki

7

7

豊岡で考えたい「センター機能」

第5次男女共同参画プラン策定に向けた重要な論点

国が示す方向

- ・ 連携・協働の拠点機能
- ・ センター機能を担う体制の確保に努める
- ・ 男女共同参画機構（JGEPA）による地域支援

豊岡で考えたいこと

- ・ 誰が、どこで、どう担うか
- ・ 情報・学習・交流・相談への入口
- ・ 市民・大学・企業・地域・行政をつなぐ
- ・ ネットワーク型／将来的な拠点整備

第5次プランの論点

国の男女共同参画機構と、豊岡の市民・現場をつなぐ
「地域側の受け皿」をどうつくるか。

©2026 Asako Osaki

8

8

まとめ：地域での実装を支える仕組み

理念を、地域の実践につなげる

法改正

関係者の連携・協働を法制度に位置づけ

6次計画

地域の取組と推進体制を強化

自治体

男女共同参画センター機能を担う体制を確保

男女共同参画機構が地域の取組を支援

©2026 Asako Osaki

9

9

女性版骨太の方針2026

第6次計画を、年度ごとの重点施策と各府省の予算につなぐ実行方針

2026年の重点：健康・成長戦略分野・地域

女性の健康

- 生涯を通じた健康支援
- 仕事と健康課題の両立
- 性差を踏まえた取組



成長戦略分野・地域

- 成長分野への女性参画
- 地域での経済的自立と意思決定参画
- 若者・女性に選ばれる地域づくり

豊岡との接点

国の重点分野は、
豊岡の地域課題と地域資源に深く関わっている。

©2026 Asako Osaki

10

10

女性版骨太2026と豊岡との接点

地域の未来に直結する重点分野

- ・ 女性の健康とWell-being
- ・ 地域での女性の経済的自立
- ・ 企業・地域の意思決定への女性参画
- ・ デジタル・GX/グリーン・ケア等の成長分野
- ・ 若者・女性に選ばれる地域
- ・ 地域の推進体制と協働

示唆

男女共同参画は、地域の持続可能性と新しい価値を生み出す成長戦略でもある。

©2026 Asako Osaki

11

11

国の基幹政策にも、「女性参画」と「男女共同参画」の視点

2026年、国の3つの基本政策に、女性参画・男女共同参画が位置づけられました

女性政策だけでなく、まちづくり・働き方・地域の未来の政策へ

骨太の方針2026

- ・ 働きがい・働きやすさ
- ・ 男女間賃金差異の是正
- ・ 仕事と育児・介護の両立
- ・ 女性の健康

日本成長戦略

- ・ 成長分野への女性参画
- ・ 理工系・デジタル人材
- ・ 就業継続・リスクリリング
- ・ アンコンシャス・バイアス

地域未来戦略

- ・ 若者・女性に選ばれる地方
- ・ 地域での女性活躍
- ・ 男女共同参画センター等
- ・ 地域働き方・職場改革

豊岡への意味

男女共同参画は、女性だけのための施策ではなく、豊岡の暮らし・仕事・地域の未来を支える政策へ。

©2026 Asako Osaki

12

12

豊岡から、次の先進モデルを ～第5次男女共同参画プランへの期待～

豊岡だからこそ描ける未来がある

- ・ 官民連携でジェンダーギャップ解消を積み重ねてきた豊岡
- ・ 地方創生とジェンダー平等を結びつけてきた豊岡
- ・ 演劇・芸術文化・観光・農業・自然という豊かな地域資源
- ・ 市民と行政の多様な知見を生かせる土壌

誰もがウェルビーイングを実感できる地域の姿と、その実現への道筋を示し、
他の自治体にも広がっていく先進モデルとなることを期待しています。

©2026 Asako Osaki

13

13

この委員会に「特に」期待したいこと

1. 「人権」を土台とした具体的な政策
2. 「センター機能」を豊岡らしく実装するモデル
3. 成長分野におけるジェンダー視点主流化の実践モデル
 AI・デジタル、芸術文化・コンテンツ、観光、農業・食、グリーン、ケアなど、豊岡らしい地域資源を生かした女性活躍・ジェンダー主流化の実践事例

行政・市民・企業・大学などが一緒に政策をつくり、実践し、モニタリングする仕組みを構築する。

「計画」をつくり、「実践モデル」をつくる。

©2026 Asako Osaki

14

14